

# パートナーバンク／ イニシアティブ／外部評価

---

- P.127 パートナーバンクにおけるサステナビリティの取り組み
- P.133 イニシアティブへの参画
- P.137 外部評価

## パートナーバンクにおけるサステナビリティへの取り組み

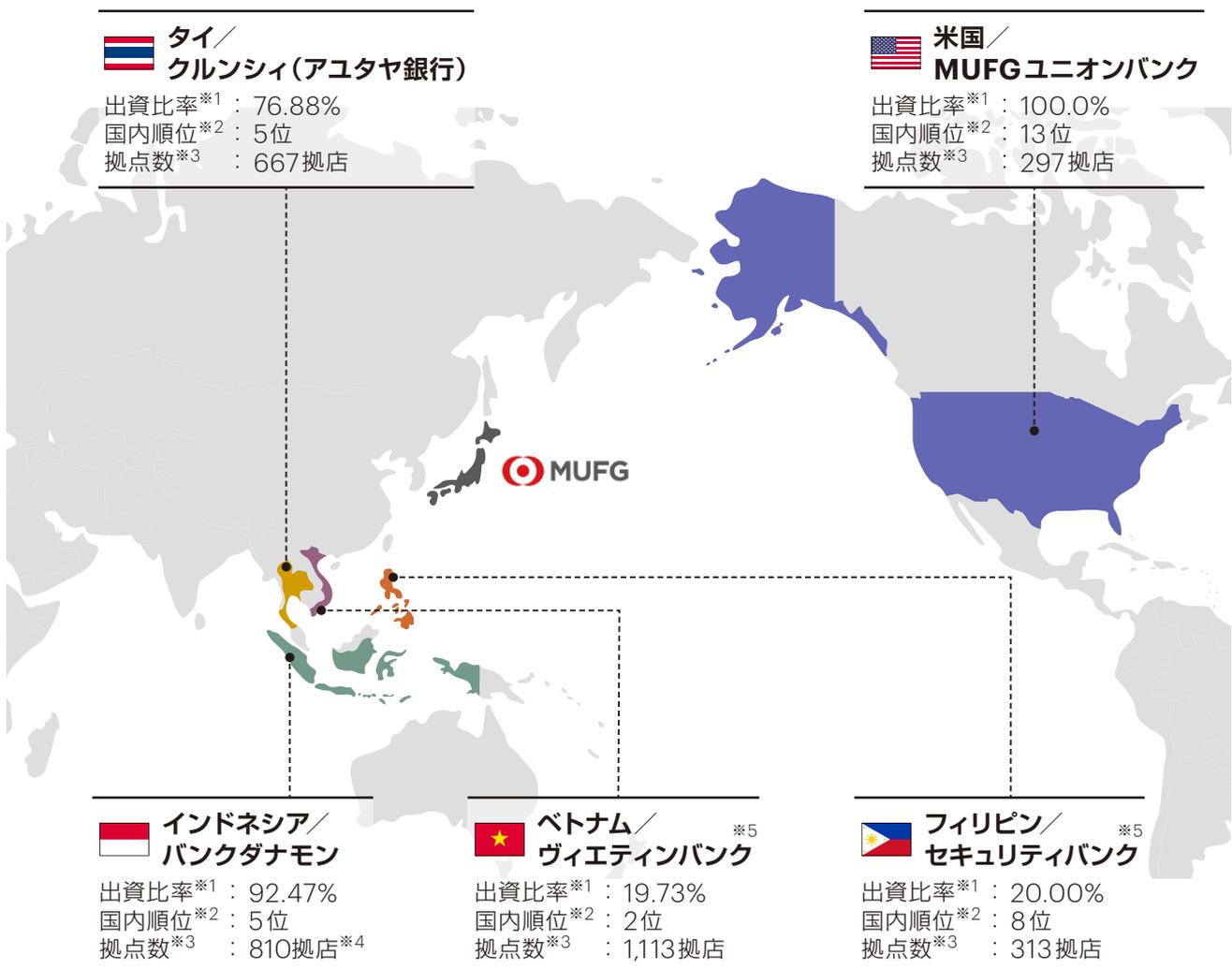
### MUFGのパートナーバンク

MUFGは、米国とASEAN諸国において、パートナーバンクを通じて商業銀行ビジネスを展開し、個人、中堅中小企業、大企業のお客さまや地域の課題解決に向けて多様なサービスを提供しています。

MUFGは、アジアをマザーマーケットの一つとして捉え、2013年のタイのクルンシィ(アユタヤ銀行)への

戦略出資をはじめ、ベトナム、フィリピン、インドネシアの4つの国の商業銀行に出資し、ASEANにおけるネットワークを構築しました。米国のMUFGユニオンバンクも含めて各パートナーバンクとの協働を促進し、グループ一体となってサステナビリティへの取り組みを進めています。

#### ●パートナーバンクのネットワーク



出所：SNL、フィリピン中央銀行発表資料、Bloomberg、各社開示情報

※1 2021年3月時点

※2 2020年12月時点の総資産をもとに算出。バンクダナモンは三菱UFJ銀行ジャカルタ支店合算。タイ・フィリピンについては国営・政府系金融機関を除いた順位。ユニオンバンクは三菱UFJ銀行とMUFG Americas Holdings Corporationの合算。

※3 各社開示情報および社内管理係数(タイ・インドネシア・米国は2021年3月時点、ベトナム・フィリピンは2020年12月時点)

※4 Adira Finance 374拠店を含む

※5 ヴィエティンバンク・セキュリティバンクとの協働の取り組みは(P.108)をご覧ください

## 各社の主な取り組み

### クルンシィ(アユタヤ銀行):タイ

#### ESG ボンドの引受でタイ国内2位に

クルンシィでは、ESGファイナンスを積極的に推進しています。同行はタイのESGファイナンス市場では主要な銀行の一つと位置付けられており、2020年度には、ESGボンド引受額でタイ国内2位となりました。また、複数のグリーンボンドを発行するなど、グリーンボンド市場の発展にも貢献しています。

順位	発行主体	引受額(THBm)	割合(%)
1	BBL	24,044	33
2	クルンシィ	22,667	31
3	SCBT	12,000	16
4	SCB	11,033	14
5	KTA	3,367	5
6	KBANK	500	1

#### MUFGと共同で初のオンライン大規模商談会を開催

クルンシィが持つローカルネットワークとMUFGのグローバルネットワークを活用して、タイ企業の海外事業展開のためのサポートを継続してきました。

今回で8年連続の開催となる大規模商談会には、タイや日本、ASEAN諸国等からお客さま200社以上が

参加し、300件以上の商談を行いました。また商談の他、地場銀行であるクルンシィならではの現地に根差した機能やMUFGのグローバルネットワークを活用し、お客さまの海外進出や事業展開をサポートするアドバイザリーサービスもオンラインで提供しました。



#### コロナ禍による課題を抱えたタイのスタートアップ企業を支援

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、世界では資金調達等の課題を抱える企業が増えています。こうした状況を受け、クルンシィの子会社である Krungsri Finnovate (クルンシィ フィノベート) は、タイのスタートアップ企業とエンジェル投資家\*を結びつけるオンラインビジネスマッチングイベント「Meet the Angels by Krungsri Finnovate」を開催しました。

イベントの目的は、スタートアップ企業が投資家にビジネスのアイデアをアピールし、リアルタイムでフィードバックを受けながら、さらなる事業拡大のためのパートナーを見つけることです。潜在力の高い事

業への投資を重視するエンジェル投資家とのビジネスマッチングを推進し、コロナ禍において双方のニーズを満たす機会を提供することで、スタートアップ企業を支えていきます。

\* 起業して間もない企業に出資する投資家



## ESGファイナンス関連の賞を多数受賞！

## 国際金融専門誌『The Asset』より、5つの賞を受賞

国際金融専門誌『The Asset』は、香港を拠点とするアジアの発行体およびアジアに投資する世界の機関投資家を対象とした国際金融専門誌です。今年新設されたサステナビリティアワード部門にてクルンシが以下5つの賞を受賞しました。

- Thailand's Best Sustainability Bond  
(ASEAN初のソブリンを発行体としたサステナビリティボンド)
- Thailand's Best Green Bond  
(タイ初のデジタルプラットフォームを活用したグリーンボンド)
- Thailand's Best Retail Bond  
(タイ初の個人投資家を対象とした気候ボンド認証ボンド)



- Regional's Best Sustainability Bond  
(ASEAN初のソブリンを発行体としたサステナビリティボンド)
- Regional's Best Local Currency Green Bond  
(タイ初の外部機関評価に基づくグリーンボンド)

## 国際金融専門誌『International Financing Review Asia』より受賞

ASEANで初めてソブリンが発行体となるタイ財務省の国債発行において、ストラクチャリングアドバイザーおよび主幹事を務めたクルンシが、金融情報会社米リフィニティブの国際金融専門誌である『International Financing Review Asia』より「Bond of the Year」を受賞しました。



## タイ債券市場(ThaiBMA)より、4つの賞を受賞！

「The ThaiBMA Best Bond Awards 2020」にて、以下4つの賞を受賞しました。

- Deal of the Year  
(タイ初の外部機関評価に基づくグリーンボンド)
- ESG Bond – 政府部門  
(ASEAN初のソブリンを発行体としたサステナビリティボンド)
- ESG Bond – 企業部門  
(タイ初の外部機関評価に基づくグリーンボンド)
- Distinguished Issuer  
(タイ初の個人投資家を対象とした気候ボンド認証ボンド)



▶ 詳細：「Deal of the Year」「Distinguished Issuer」の詳細については、クルンシの『SUSTAINABILITY REPORT 2020』をご覧ください。(各ボンドの詳細はP.73)  
(<https://www.krungsri.com/en/investor-relations/annual-report/sustainability-reports>)

## バンクダナモン：インドネシア

### MUFGとオンライン商談会を開催

バンクダナモンは、MUFGと協働でインドネシアの企業と日本および東南アジアのMUFGのお客さまを繋ぐオンライン商談会を開催しました(2021年2月)。

日本並びにインドネシア等のASEAN全域から120の中小企業や大企業が参加し、260件以上の商談が行

われました。

バンクダナモンの強力な地場のネットワークとMUFGのビジネスマッチングのノウハウを活かし、お客さまのインドネシアへの進出支援やビジネス拡大を通じて、インドネシアの経済の成長に貢献していきます。

### イスラム金融機能を活用し医療機関を支援

バンクダナモンは、MUFGと協働で現地医療機関向けに資金支援を行いました。

コロナ禍で借入れニーズが高まるなか、通常の融資形態での支援が難しい先に対し、MUFGが持つ日系顧客基盤を活かした案件発掘力と、バンクダナモンの持つ与信判断力・地場銀行ならではのソリューション力を活かして支援を提供。シャリアリース形式\*でコロナ関連医療機器を調達することが可能となりました。

\* シャリアリース：銀行が物件所有者／賃貸人となり、賃借人（顧客）と賃貸借契約を締結。通常の貸出における元本・利子を賃借料として顧客が払う仕組みのため、利子の授受が発生せず、利子の取得を禁じたイスラム教の教義に反しない。インドネシア会計基準に則り、賃借人のバランスシートに計上されない。



### 新型コロナウイルス感染症拡大への対応

#### ● イスラム金融を通じたコロナワクチン製造設備投資資金を提供

バンクダナモンは国内の大手製薬会社のコロナワクチン製造設備投資資金として、イスラム金融を通じて1.5兆ルピア(約109億円)の融資を提供しました。

#### ● インドネシア全土の病院や医療施設に 個人用防護具(PPE)を寄贈

バンクダナモンは新型コロナウイルス感染症対策の最前線で働く医療従事者に対し、個人用防護具4,000個を寄贈しました。

#### ● 10,000人のボランティアに保険を提供

バンクダナモンは、コロナ禍において社会や人々のためにリスクを負いながら活動しているインドネシア国家防災庁のボランティア10,000人に対し、安心して活動できるように保険を提供しました。

▶ 関連：「コロナ禍への対応の詳細」については(P.36)をご参照ください。

#### ● 配車ドライバーを支援

バンクダナモンと子会社のAdira Finance(アディラファイナンス)は、食料、医薬品、その他の必需品の配達に携わる配車ドライバーを支援するため、Grab\*とGojekに対し、10億ルピア(約730百万円)以上の寄付を実施しました。

\* Grabへの寄付はMUFGとの協働



## MUFGユニオンバンク：米国

### Green Depositsの取り扱い開始！

MUFGユニオンバンクは、2021年2月にGreen Depositsの立ち上げを発表しました。お客さまからお預かりした資金は、再生可能エネルギーやサステナブルフード、持続可能な農業支援、温室効果ガス削減などの環境負荷軽減の取り組みに充当されます。2021年8月には、ユニオンバンクだけでなく、銀行ニューヨーク支店でも取り扱いを開始しました。

お客さまに環境分野への間接的な投資機会を提供

することで、お客さまとともに環境課題解決に貢献していきます。



### 助成金支援を含む住宅ローンの提供

ユニオンバンクでは、低中所得者層への助成金支援を含む住宅ローンの提供を通じて、所得の差に関わらず住宅保有の機会が得られるよう支援するとともに、金融リテラシー教育の提供を通じた情報格差の是正に取り組んでいます。

### 新型コロナウイルス感染症への対応

#### ● PPPローン30億米ドル実施

ユニオンバンクは、2020年の新型コロナウイルス支援・救済・経済安全保障法（CARES法）の一部である米国連邦政府のPPPローン\*支援プログラムに参加し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたカリフォルニア、ワシントン、オレゴン各州の中小企業および非営利顧客の支援を実施しました。合計で14,918社の中小企業の事業継続に貢献しています。

\* PPPローン：Paycheck Protection Program (PPP)によるローン。  
従業員500人以下の中小企業を主な対象とし、全従業員の月給総額の2.5倍（上限1,000万ドル）まで借入れが可能な制度。ローンの一定額を給与・賃料・公共料金の支払い等に使用し、雇用の維持もしくは従業員の再雇用等の条件を満たせば債務が免除される仕組み。



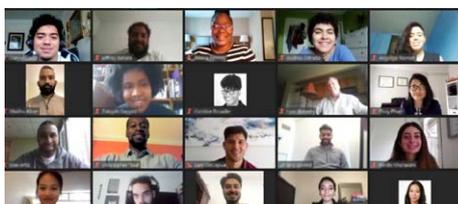
### MUFG Gives Back Programとしてのリモートボランティアを推進

MUFG Gives Back Programは、東日本大震災からの復興に向けた世界中からの支援に対する感謝の気持ちを世界の人々に伝えることを目的に、グローバルベースで社員が年間を通じて一斉に取り組む社会貢献活動プログラムです。

ユニオンバンクでは、社会貢献活動への参加は、コミュニティにおける重要な要素と考えられています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるなかでも、リモートでボランティア活動を実施しました（2020年度合計33,235時間）。リモートボランティアの浸透によって距離や地域の制限が無くなり、従来よりも幅広い選択肢から活動を実施することが可能となりました。

恩返しを文化を育む組織の一員として、今後も積極的な活動を推進していきます。



▶ 詳細：「MUFG Gives Back Program」については「社会貢献活動（P.112）」をご参照ください。

## クリーンテクノロジー育成のため5万米ドルを寄付

MUFGユニオンバンク財団は、クリーンテクノロジーの起業家を鼓舞し育成することを目的に、ニューヨーク大学Urban Future Labに5万ドルの寄付を実施しました。

資金は、2021年9月に開催予定の気候変動の課題を解決するのに役立つ革新的なクリーン技術とビジネスモデルに焦点を当てたコンテストの運営資金に充当されます。



## Sustainable Business Office for the Americas 設立

ユニオンバンクは、サステナビリティへの取り組みを強化するため、2020年度にSustainable Business Office for the Americasを立ち上げました。これまで、長年にわたり再生可能エネルギープロジェクトファイナンスやグリーン・ソーシャルローン/ボンド、持続可能な農業のための資金調達などの分野で地域を牽引してきた経験を活かし、今後も持続可能な環境・社会の実現に一層貢献していきます。

## 電気自動車充電ステーション付き！ La Mesa 支店の再構築

2020年5月下旬、ユニオンバンクのLa Mesa支店は、火災により焼失しましたが、2022年に環境・コミュニティと調和した支店として再オープン予定です。施設内には、地域の皆さまも集まることができる会議室に加え、地域の皆さまの寄贈による植栽を備えたコミュニティガーデン、2つの電気自動車充電ステーションが併設されるなど、従来の銀行支店とは異なる支店として生まれ変わります。



支店再建を願って地域住民と壁にアート描き、希望のシンボルとしました。

## CERES (環境に責任を持つ経済のための連合) に参画

ユニオンバンクは、米国の環境保護団体や投資関係団体などからなるNGO組織「Coalition for Environmentally Responsible Economies (環境に責任を持つ経済のための連合)」に参画しました。

- ▶ 詳細：ユニオンバンクの「The 2020 CSR Report」をご覧ください。  
(<https://www.mufgamericas.com/who-we-are/corporate-social-responsibility/resiliency-and-progress-corporate-social-responsibility-2020>)

## イニシアティブへの参画

MUFGは、金融機関としての社会的責任、国際社会からの要請に応え、持続可能な社会の実現に貢献するため、さまざまなイニシアティブへ参加・賛同しています。(参画時期の新しい順に掲載)

### Net-Zero Banking Alliance(NZBA)

NZBAは、2050年までに投融資ポートフォリオにおけるGHG(温室効果ガス)排出量ネットゼロをめざし、2021年4月に世界43行の銀行にて発足した、国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP FI)が主催するイニシアティブです。MUFGは、同年6月に本邦金融機関として初めて加盟し、各地域から選出された12行と国連で構成されるステアリンググループ※に、アジア地域代表の1行として選出されました。また、NZBAを含むネットゼロを主導する金融の業態別のイニシアティブを統合している Glasgow Financial Alliance for Net Zero (GFANZ)の作業部会にも日本の銀行として唯一参加しています。(2021年9月時点)

※ステアリンググループメンバー (<https://www.unepfi.org/net-zero-banking/members/governance/>)

### Partnership for Carbon Accounting Financials(PCAF)

MUFGは、投融資先のGHG排出量の測定・開示を標準化することを目的として2015年に発足した国際的なイニシアティブであるPCAFに、2021年8月に参画しました。



### The Sustainable Markets Initiative(SMI)

SMIは、2020年に英国チャールズ皇太子が持続可能な未来の実現を推進・加速させていくために企業に協働を呼び掛けたイニシアティブです。MUFGは、金融サービスタスク・フォースに参画し、持続可能で環境に優しい社会の実現と脱炭素の推進に金融の立場から貢献していきます。



### 循環経済パートナーシップ

環境省、経済産業省および日本経済団体連合会が、国内企業を含めた幅広い関係者における循環経済へのさらなる理解醸成と取り組みの促進をめざして、2021年3月に立ち上げた「循環経済パートナーシップ(J4CE: Japan Partnership for Circular Economy)」に参画しています。

### ポセイドン原則

銀行は、金融機関による海運業界の気候変動対応を推進するための国際的な枠組みである「ポセイドン原則(The Poseidon Principles)」に参画しています。



POSEIDON  
PRINCIPLES

## インパクト投資の運用原則

銀行は、国際金融公社 (International Finance Corporation、以下IFC\*) が主体的に策定しているインパクト投資におけるグローバルな市場基準である「インパクト投資の運用原則 (Operating Principles for Impact Management)」に署名しています。(本邦の民間金融機関としては初めて)

\* 世界銀行グループの機関。1956年設立。途上国の民間セクター開発に特化した世界最大規模の国際金融機関。世界約100カ国の民間企業との協力を通じて、極度の貧困を撲滅し、繁栄の共有を促進するための支援を実施しています。

Signatory to:



Operating Principles for  
Impact Management

## 責任銀行原則 (PRB)

責任銀行原則は、国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI) により、SDGsやパリ協定などの国際社会の目標と整合した事業活動を銀行に促すことを目的としています。MUFGは2019年に署名を行っています。



## 経団連チャレンジ・ゼロ

「チャレンジ・ゼロ」(チャレンジ ネットゼロカーボン イノベーション)は、一般社団法人 日本経済団体連合会 (経団連) が日本政府と連携し、パリ協定が長期的ゴールと位置付けている「脱炭素社会」の実現に向け、企業・団体がチャレンジするイノベーションのアクションを国内外に力強く発信し、後押ししていくイニシアティブです。MUFGは同イニシアティブに参加し、サステナブルファイナンスを通じたネットゼロ社会の実現に貢献しています。



## Climate action 100+

Climate Action 100+は、温室効果ガス排出量の多い企業を対象に、気候変動を抑制する対策を取るよう促すイニシアティブとして、2017年12月にグローバルの投資家により設立されました。信託は、2018年より同イニシアティブに参画し、投資先へのエンゲージメントを行っています。



## 気候変動イニシアティブ

MUFGは、脱炭素社会の実現をめざし、気候変動対策に積極的に取り組む企業や自治体、NGOなどの情報発信や意見交換を強化するためのネットワークである気候変動イニシアティブに2018年より参加しています。



## 経団連生物多様性宣言

MUFGは、2018年10月に日本経済界による生物多様性への取り組みの深化と裾野拡大に役割を果たすために改定された経団連生物多様性宣言・行動指針に賛同しています。

## 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)

MUFGは、金融安定理事会 (Financial Stability Board : FSB) によって設立された気候関連財務情報開示タスクフォース (Task Force on Climate-Related Financial Disclosures : TCFD) が策定した、気候関連財務情報開示に関する提言を2017年12月より支持しています。TCFDによる提言は、気候変動に関連するガバナンスや事業リスク、ビジネス機会についての情報開示を企業に促し、投資家との間で共有できるようにするものです。なお、2019年5月には、信託も、資産運用会社の立場として支持を表明しています。

▶ 詳細：「TCFD提言への対応」については「気候変動対応・環境保全—TCFDレポート— (P.44)」をご参照ください。



## 21世紀金融行動原則

銀行、信託は、金融機関の主体的な取り組みによる「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則 (21世紀金融行動原則)」に、2011年11月策定当初より署名しています。21世紀金融行動原則は、持続可能な社会づくりに向けた金融行動に最善の努力を行う等を掲げた7項目、およびこの原則を実践するための業務別ガイドラインからなります。



## 国連グローバル・コンパクト(UNGC)

MUFGは、2006年より国連グローバル・コンパクトに署名し、支持を表明しています。国連グローバル・コンパクトは、1999年にコフィー・アナン国連事務総長(当時)が提唱した自主行動原則です。世界中の企業・団体に対し、影響力のおよぶ範囲内で、人権、労働、環境、腐敗防止に関する国際的規範を支持し実践するよう促しています。MUFGは、「持続可能な社会の実現への貢献」をめざす金融グループとして、国連グローバル・コンパクトの原則に賛同しています。

WE SUPPORT



## 責任投資原則(PRI)

信託は2006年に発表された「責任投資原則 (PRI)」を推進しています。PRIは、受託者責任の範囲内で投資の意思決定に環境、社会、ガバナンス (ESG) 問題を取り込み、長期的な投資成果を向上させることを目的としています。信託は2006年5月に国内の機関投資家の第一陣として同原則に署名し、PRIに基づく投資行動を国内に広げる活動を進めています。



## CDP

CDP(旧:カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)とは、世界の機関投資家が連携し、企業の気候変動戦略や具体的な温室効果ガスの排出量の公表を求めるプロジェクトです。MUFGは2004年より参加しています。



## 赤道原則

銀行は、大型の開発プロジェクトへの融資を手がける際の環境社会影響配慮の枠組みとして「赤道原則」を採択しています。

▶ 詳細:「赤道原則への対応」については  
(<https://www.mufg.jp/csr/environment/equator/>)をご参照ください。



## 国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI)

MUFGは、「国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)」に署名しています。これは「金融機関のさまざまな業務において、環境および持続可能性に配慮したもっとも望ましい事業のあり方を追求し、これを普及、促進すること」を目的とした官民パートナーシップです。



## 外部評価

最新の情報は (<https://www.mufg.jp/profile/overview/awards/>) をご覧ください。

### ESGインデックスへの組み入れ

#### FTSE4Good Index Series

MUFGは、ロンドン証券取引所グループの一企業であるFTSE Russellが開発した「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に選定されています。

#### FTSE Blossom Japan Index

MUFGは、ロンドン証券取引所グループの一企業であるFTSE Russellが開発した「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定されています。

#### Bloomberg Gender-Equality Index

MUFGは、Bloombergによる「2021 Gender-Equality Index」の構成銘柄に選定されています。

#### S&P/JPX カーボン・エフィシエント

MUFGは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスと東京証券取引所が開発した「S&P/JPX カーボン・エフィシエント」に選定されています。

## サステナビリティに関する取り組みへの評価

### 日経 Smart Work 経営調査 4.5星

働き方改革を通じて生産性革命に挑む先進企業を選定する第4回日経 Smart Work 経営調査において、4.5星に認定されました。



### なでしこ銘柄

MUFGは、経済産業省・東京証券取引所により、女性活躍推進に優れた上場企業「なでしこ銘柄」に選定されています。



### PRIDE 指標2020 ゴールド受賞

LGBTQに関する取り組みが評価され、2020年11月、「PRIDE 指標<sup>※1</sup>」において最高位であるゴールドを受賞しました<sup>※2</sup>。

※1 LGBTQに関する企業等の取り組みを評価する日本初の指標。任意団体 work with Pride が運営している。  
 ※2 MUFGおよび銀行、信託、証券、ニコス、MUSビジネスサービス、MUS情報システムの各社における取り組みが評価されたもの。



### Corporate Equality Index

米国最大のLGBTQ関連人権団体であるHuman Rights Campaignが行う、企業におけるLGBTQの平等性評価「Corporate Equality Index」において、MUFG Union Bankは8年連続で満点を獲得しています。



### DiversityInc Noteworthyに選出

MUFG Union Bankは、米国のダイバーシティ企業ランキングにおいて「Noteworthy」に選出されました。



## くるみん・プラチナくるみん

グループ各社で次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定」を取得しています。これは「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受けた証で、さらに高い水準で取り組みが進んでいる企業は「プラチナくるみん認定」を取得しています。



### ●くるみん認定取得企業

- 三菱UFJ銀行
- 三菱UFJ信託銀行
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
- 三菱UFJニコス
- アコム
- 三菱UFJファクター
- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング
- 日本マスタートラスト信託銀行
- 三菱総研DCS
- 三菱UFJインフォメーションテクノロジー
- 三菱UFJトラストシステム
- 三菱UFJ国際投信
- MUSビジネスサービス
- エム・ユー・コミュニケーションズ
- ジャックス
- 中京銀行

### ●プラチナくるみん認定取得企業

- 三菱UFJ銀行
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
- 日本マスタートラスト信託銀行
- 三菱総研DCS
- 三菱UFJインフォメーションテクノロジー
- 三菱UFJトラストシステム
- エム・ユー・コミュニケーションズ

## えるぼし

グループ各社で女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」を取得しています。これは女性の活躍推進に関する状況等が優良な企業として厚生労働大臣の認定を受けたもので、基準を満たす項目数に応じて3段階で認定されます。

- 三菱UFJニコス(2段階目)
- 三菱UFJインフォメーションテクノロジー(2段階目)
- 三菱UFJトラストシステム(2段階目)
- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(3段階目)
- 日本マスタートラスト信託銀行(3段階目)
- MUSビジネスサービス(3段階目)



## サステナビリティへの取り組みに対する受賞

## ●2020年度の受賞状況

受賞名	受賞理由	受賞企業
第74回 金商奨 ● 優良外資系企業 金商奨	台湾の経済団体「中華民國全国商業總會」が毎年発表する金商奨（台湾経済・社会の発展に大きく貢献した企業に与えられる賞）において、銀行の洋上風力発電プロジェクトへの貢献が評価され、邦銀で初めて受賞。 	三菱UFJ銀行
第2回 ESGファイナンス・ アワード・ジャパン （環境大臣賞） ● 間接金融部門 銀賞	MUFG 環境・社会ポリシーフレームワークについて、相対的なカバレッジの広さや、必要に応じて見直しが行われている点、世界各地に配置したサステナブルアンバサダーとの連携窓口としてサステナブルビジネス推進を統括する等、グローバルに対する体系的な取り組みが国内間接金融機関随一である点が評価され受賞。	三菱UFJ銀行
21世紀金融行動原則 2020年度最優良取組事例 ● 環境大臣賞（総合部門）	信託は、本邦運用機関として初めて、全ての運用資産でESGを組み込む方針（「MUFG AM 責任投資ポリシー」）を策定し、同方針に基づき、運用残高（51兆円*）の全てで責任投資に取り組んでいます。日本における責任投資のパイオニアとして、全ての運用資産で重大なESG課題の解決に向けた取り組みを推進していることが評価され受賞。 ※ 信託単体ベース（2021年6月末時点） 	三菱UFJ信託銀行
プライベートバンキング & ウェルスマネジメント・ サーベイ ● 日本のプライベート バンキング部門 総合1位	国際金融専門誌『EUROMONEY』が主催する本アワードは、プライベートバンキング & ウェルスマネジメント・アワードの中で最も著名なものの一つです。日本においてウェルスマネジメントサービスを展開する金融機関として、お客さまとお客さまを担当するファイナンシャルアドバイザーとの長期にわたる強固な信頼関係や、提供する幅広い商品・サービスなどが総合的に高く評価され受賞。	三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券

<p>ベストモチベーション カンパニーアワード 2020</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大手企業部門 2位</li> </ul>	<p>株式会社リンクアンドモチベーションが従業員エンゲージメント調査を実施した全1,568社の企業の中から、最も「エンゲージメントスコア」(企業と個人の相互理解・相思相愛度合いを偏差値化したもの)が高い10社を選出・表彰する制度。経営における「従業員エンゲージメント」への注目が高まっているなか、社員同士の強い信頼関係の構築をベースに、社員と会社との相互理解を深めてきた結果、受賞に繋がりました。</p>	<p>アコム</p>
<p>日本赤十字社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 金色有功章</li> </ul>	<p>MUFGを含む6社(MUFG、銀行、信託、三菱UFJ証券ホールディングス、ニコス、アコム)が、新型コロナウイルス感染拡大に対する医療機関への支援として実施した総額6億円の寄付に対し、各社が「金色有功章」または「社長感謝状」を受賞。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>MUFG</p>

## ●2019年度の表彰状況

表彰名	受賞企業
2020 J-Win ダイバーシティ・アワード ● 企業賞「アドバンス部門」の準大賞 ● 経営者アワード	三菱UFJ銀行
Environmental Finance Bond Award 2020 ● Lead manager of the Year, Social Bonds – Corporate	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
東京金融賞 2019 ● ESG投資部門	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
第1回 ESGファイナンス・アワード・ジャパン (環境大臣賞) ● 金融サービス部門 銀賞	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
DEALWATCH AWARDS 2019 ● Bond House of the Year (社債部門)	三菱UFJモルガン・スタンレー証券

## ●2018年度の表彰状況

表彰名	受賞企業
2018年(第4回) サステナブルファイナンス大賞 ● グリーンボンド賞	MUFG
ジャパン・グリーンボンド・アワード環境大臣賞 ● ジャパン・グリーンインパクト部門	MUFG
ジャパン・グリーンボンド・アワード環境大臣賞 ● ジャパン・グリーンコントリビューター部門	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
第9回 キャリア教育アワード ● 大企業の部 奨励賞	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
メセナアワード 2018 ● 優秀賞	アコム